

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業者名) 東洋紡(株)高砂工場

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

- ・ 東洋紡グループ地球環境基本方針としての環境理念
我々は、人と地球にやさしい技術を通して社会に貢献し、地球環境の保全を図り、次の世代に、住みよい地球と豊かな社会を残すよう努めます。
- ・ 東洋紡グループ地球環境基本方針としての環境方針
 - (1) 技術の開発
東洋紡グループの総力を発揮して、人と環境にやさしい技術（製品と製造プロセス）の開発に取り組み、環境対策を推進していきます。
 - (2) 環境保全
製品の開発から設計・製造・販売・廃棄・回収に至る全ての段階において、環境に及ぼす影響を予測し、評価し、低減し、環境保全に取り組みます。
 - (3) 社会への貢献
より良い地球環境の実現を目指し、事業を通じてだけでなく、良き企業市民として、社会や地域における環境保護や生物多様性保全活動への支援・参画に積極的に取り組みます。
- ・ 高砂工場の環境理念
 - ① 3C (Clean Creative and Characteristic) を基本理念として、地球、環境、人間に優しい企業となり、PLA (Product Lifecycle Assessment) に徹した商品を顧客に提供する。
 - ② 我々は、人と地球に優しい技術を通して社会に貢献し、地球環境の保全を図り次世代に、住みよい地球と豊かな社会を残すように努める。
- ・ 高砂工場の環境方針
 - ① 環境保全は経営の重要課題
 - ・ 本方針遂行のため、法規の要求事項・著しい環境側面・利害関係者の意見に基づき環境目的・目標を設定し、その実現を図り、定期的な見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
 - ② 法規制の順守
 - ・ 環境に係わる法規制および協定等の要求事項を守ります。
 - ・ 定常作業はもちろん、事故等の緊急時においても地域社会に迷惑をかけないように努めます。
 - ③ 研究開発から製品出荷及び輸送までの各プロセスにおける環境負荷の低減
 - ・ 環境負荷の低減に配慮した製品および製造プロセスの開発に努めます。
 - ・ 原材料の効率的な使用により省資源に努めます。
 - ・ 廃棄物の分別とリサイクルに努めます。
 - ④ 教育訓練の充実と環境意識の向上
 - ・ 協力会社を含む全従業員が環境マネジメントシステムの基本を認識し、環境方針に沿った行動を行うよう教育を行います。
 - ・ 計画的な環境に関わる教育訓練を進め、環境保全の質を高めます。
 - ⑤ 地域との協調連帯
 - ・ 当工場周辺の美化に努めます。

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

なお、本方針の開示を外部から求められた場合には公開します。

1-2 環境保全活動に関する組織体制

EMS 実行組織図参照

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
化学物質対策	・ 施設管理による漏洩未然防止、保管・管理の適正化 ・ 平成30年度分のPRTR報告書は令和元年5月8日に提出	・ 現行取り組みの維持
廃棄物対策	・ 産業廃棄物業者との話し合いで、ゼロエミッションを達成した。	・ 令和2年度もゼロエミッション達成
二酸化炭素排出抑制	・ 特に目標を設定せず、これまでの活動を継続。主にはガス・ジェネシテム導入、省電力、マイカー通勤の自粛で取り組んでいる。	・ 令和2年度も同様
研究開発から製品出荷及び輸送までの各プロセスにおける環境負荷の低減	・ 原材料の効率的な使用という事で、製品収率アップによる廃液原単位削減 目標製品数は4品目に対し、目標達成	・ 令和2年度も同様に、製品収率アップによる廃液原単位削減について4品目について取り組む
教育訓練の充実と環境意識の向上	・ 各職場において、自職場の環境目標と環境方針に沿った行動を行うような自覚を促す教育を年度の初めに実施している。	・ 年度初めの教育については、引き続き実施していく。
地域との強調連帯	・ 1回/月のペースで当工場周辺の美化活動を実施	・ 令和2年度も引き続き実施中
環境コミュニケーション	・ 本社へ当工場のデータを報告し、東洋紡(株)として情報を公開している。	・ 現行組織の維持

EMS 実行組織図

高砂工場長

 制定 '97.08.11
 改定22 '17.02.11
